

ステージ手すり

(緑のガレージD&S
緑のバルコニーD&S 用
緑のデッキD&S)

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

■梱包明細書

①地中梁セット

名 称	員 数		
	1セット入	3セット入	10セット入
地中梁 L=748	2	6	20
地中梁固定ネジ φ4×16ナベピラス	10(2)	30(6)	90(10)

②地中梁セット(端部用)

名 称	員 数
地中梁 L=748	1
端部地中梁 L=147	1
地中梁固定ネジ φ4×16ナベピラス	10(2)

③地中桁Cセット

名 称	員 数
地中桁C L=708	1
地中桁固定ネジ φ4×16ナベピラス	4

④支柱セット

名 称	員 数		
	主柱	端柱	角柱
支柱 L=1252	1	1	1
笠木固定金具2	1	1	—
笠木固定金具3	—	—	1
金具固定ネジ φ4×16ナベピラス	4	4	4
笠木固定ネジ φ4.1×32丸木	4	4	4
木口カバー	—	1	—
カバー組付ネジ φ4.1×32サラ木	—	2	—
支柱固定ネジ φ4×16ナベピラス	8	8	8

⑤笠木・下棧セット

名 称	員 数	
	1スパン	2スパン
ステージ笠木 L=1500	1	—
ステージ笠木 L=2700	—	1
下棧 L=1111	1	2
下棧組付部品	2	4
部品固定ネジ φ4×16ナベピラス	6	12
下棧組付ネジ φ5×30サラ3種	2	4

⑥笠木・下棧セット(W1500・W1800用)

名 称	員 数	
	W1500	W1800
ステージ笠木 L=1800	1	—
ステージ笠木 L=2100	—	1
下棧 L=1411	1	—
下棧 L=1711	—	1
下棧組付部品	2	2
部品固定ネジ φ4×16ナベピラス	6	6
下棧組付ネジ φ5×30サラ3種	2	2

ラチスパネル

名 称
ラチスパネル(T-12)

緑のメッシュ

名 称
フラットパネル

※()員数は、予備ネジ数です。

※緑のメッシュの組付けに関しては、別紙取付説明書をご参照ください。

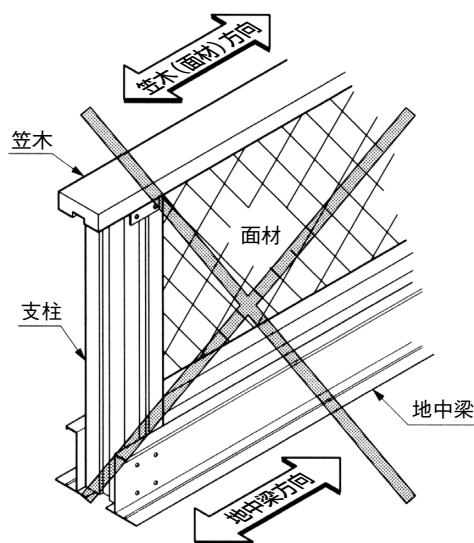
1. 施工前の注意事項（施工の前にご確認ください。）

<現場加工について>

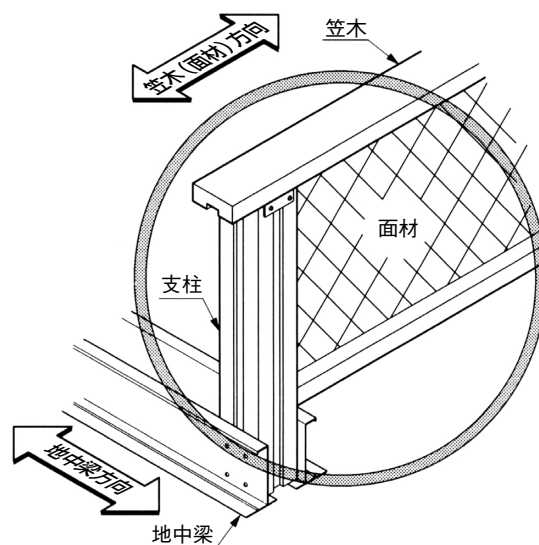
- ステージ手すりのラチス面材および笠木、下桟（木材）の切断加工があります。

<ステージ手すりと地中梁の関係について>

- ステージ手すり支柱は、地中梁を使用して固定する構造になっています。
- 地中梁はステージ手すりの面材（笠木）の方向に対し、直角の方向に配置します。
- 地中梁の方向が正しくないと十分な強度を得られない場合がありますので、必ずお守りください。

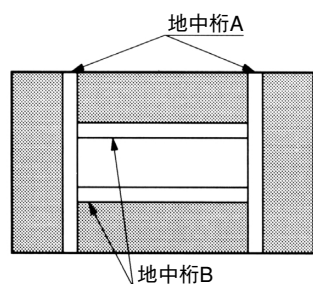


間違い例：ステージ手すりの面材（笠木）の方向と地中梁の方向が同じ場合

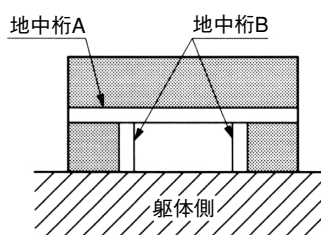


正しい例：ステージ手すりの面材（笠木）の方向と地中梁の方向が直角な場合

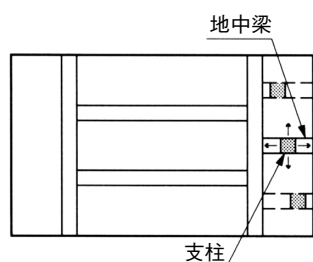
<地中梁設置範囲について>



ガレージの場合

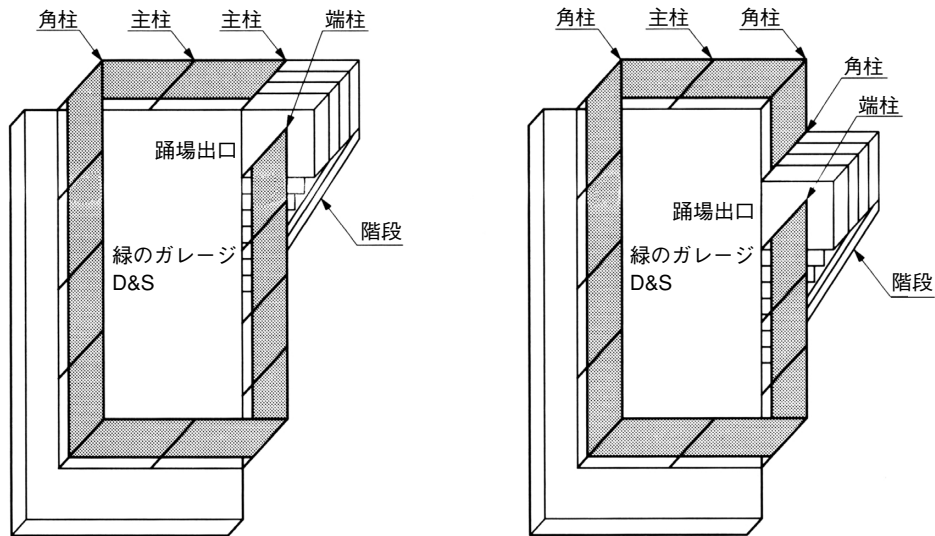


バルコニー、デッキの場合



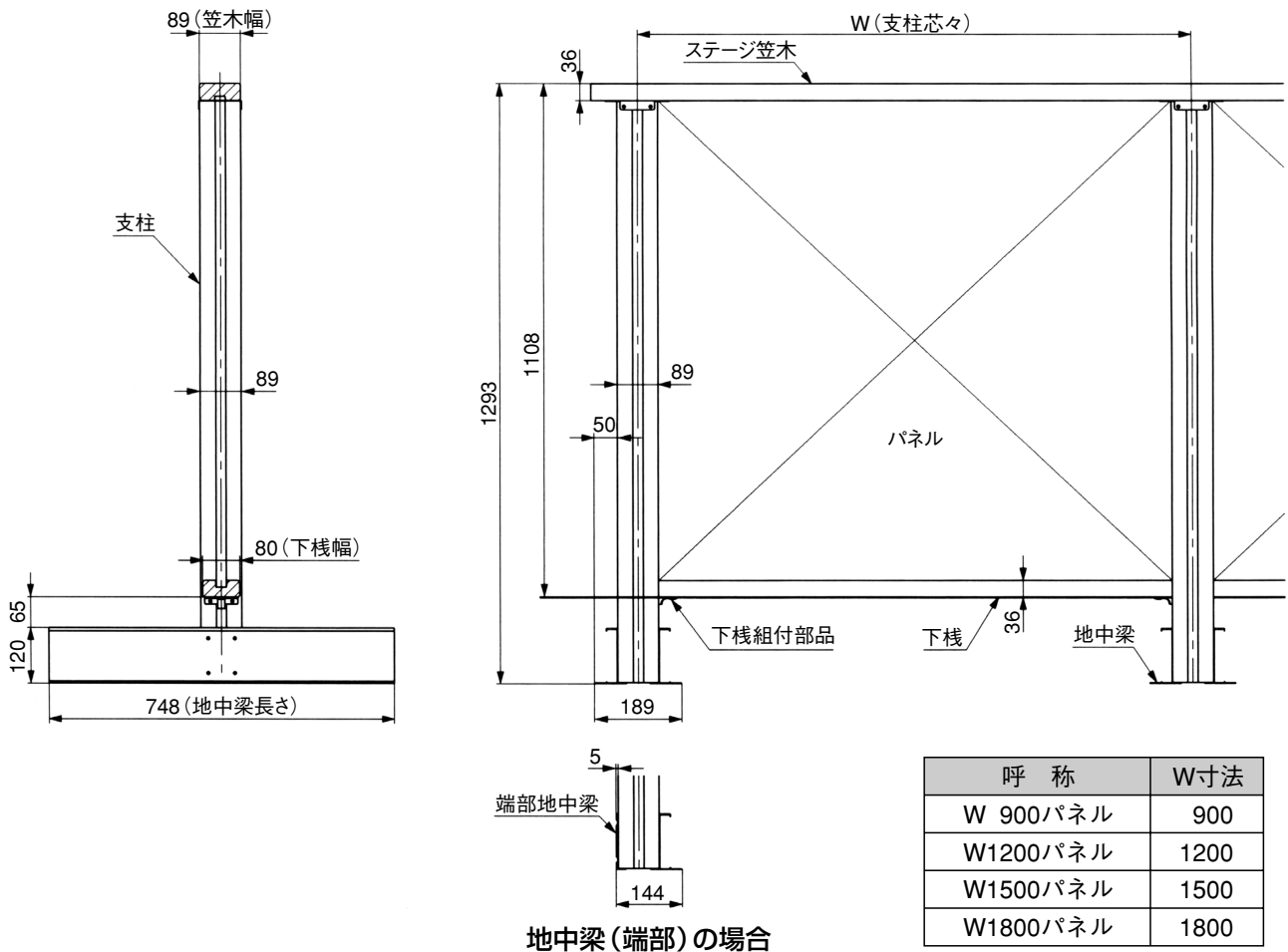
- 左図  は、地中梁設置範囲を示します。（地中桁AおよびBに設置します。）
- 範囲内の地中梁および支柱の移動は自由です。

＜階段を設置した場合の手すりの配置＞

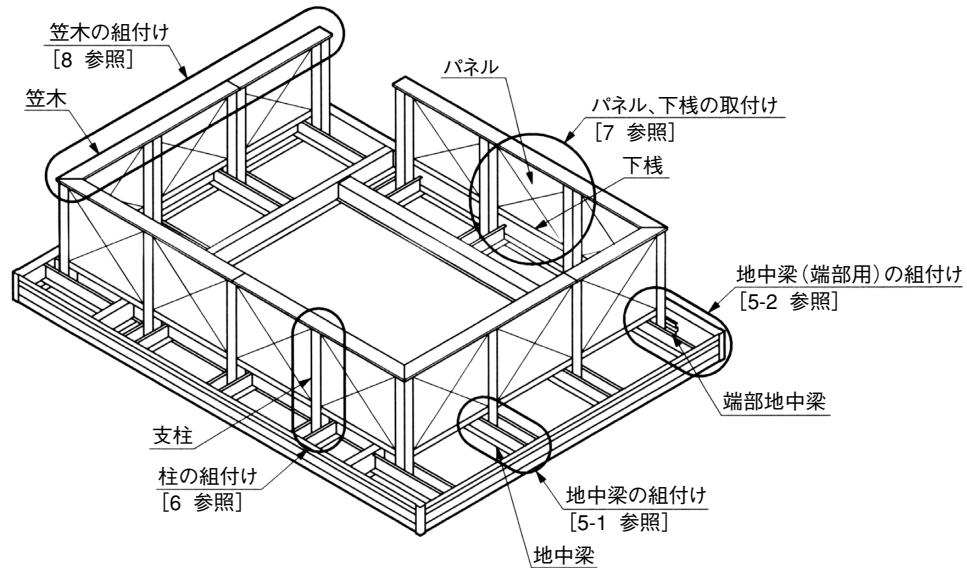


- 階段（D&S用）とステージ手すりの柱を連結させます。上図を参考にして、柱の拾い出しをしてください。

2. 基本寸法図

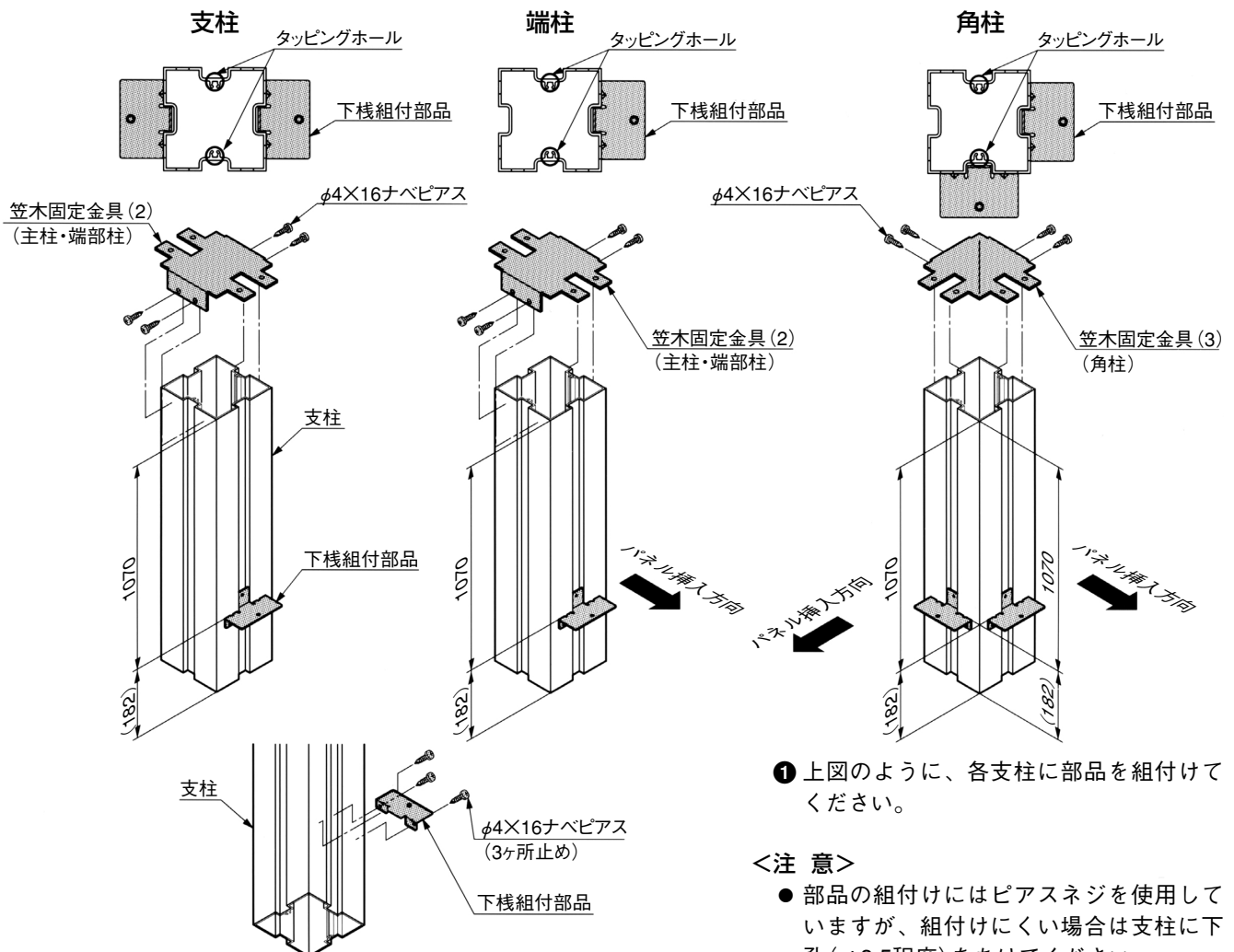


3. 各部の名称



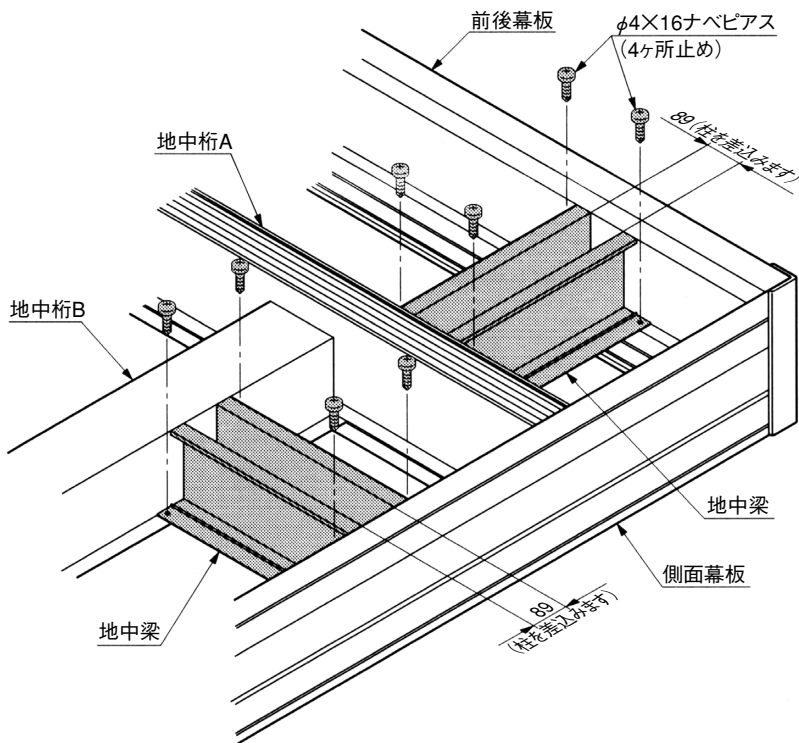
※部材の組付けに関しては、各項目をご参照ください。(地中桁Cに関しては、「9.地中桁Cの取付け」をご参照ください。)

4. 施工前の準備



5. 地中梁の組付け

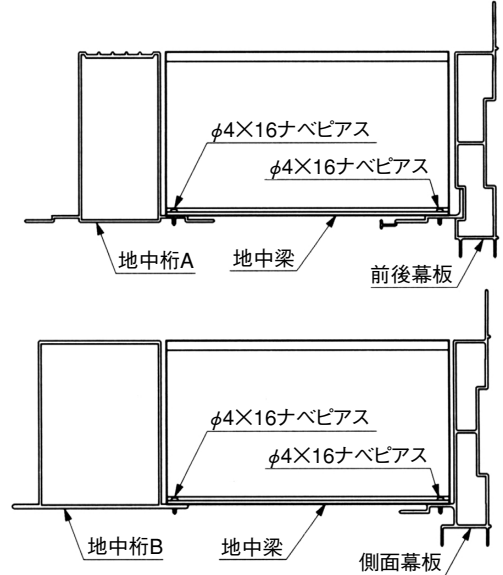
5-1 地中梁の場合



- ① 柱ピッチを計り、89mmのすき間をあけ、地中梁を組付けてください。

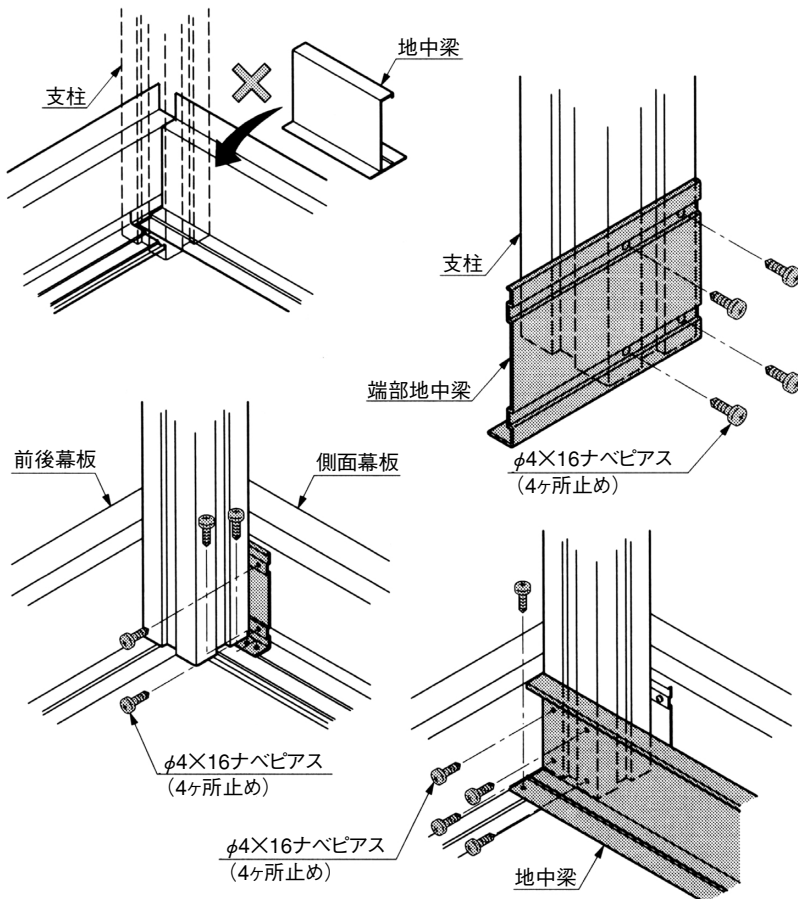
<注 意>

- 取付位置に注意してください。(下図参照)



各部材への地中梁取付図

5-2 地中梁(端部用)の場合



<注 意>

- 支柱が端に来てしまい地中梁が設置できない場合は、端部地中梁を使用して支柱を固定してください。

- ① 支柱に端部地中梁を組付けてください。

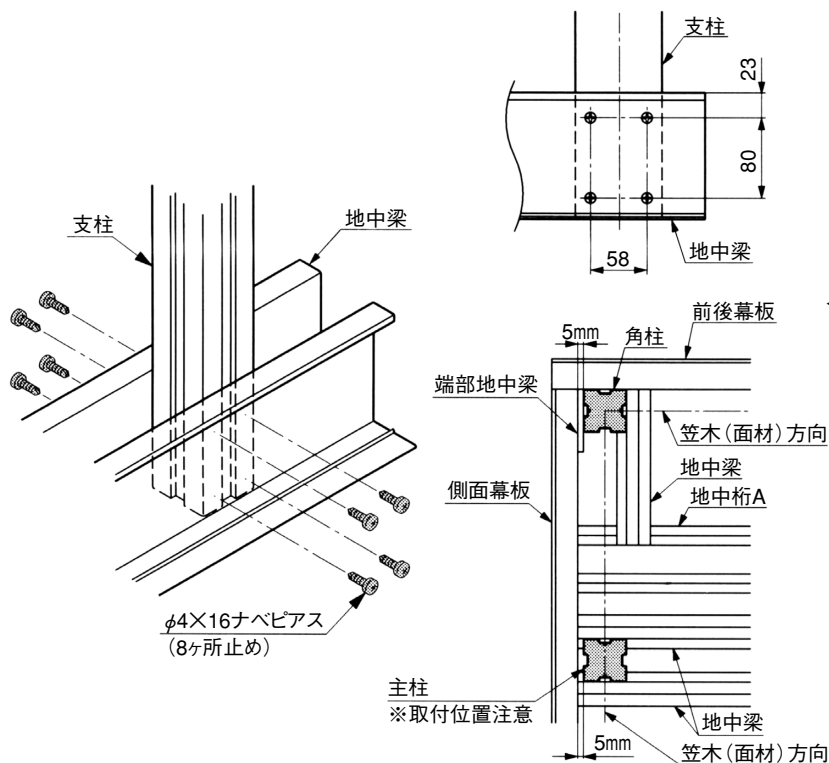
<注 意>

- ネジが打ちにくい場合は、下孔(φ3.5程度)をあけてください。

- ② 支柱を取付けた端部地中梁を幕板に固定してください。

- ③ 地中梁を組付け、支柱を固定してください。(「6.柱の組付け」参照)

6. 柱の組付け

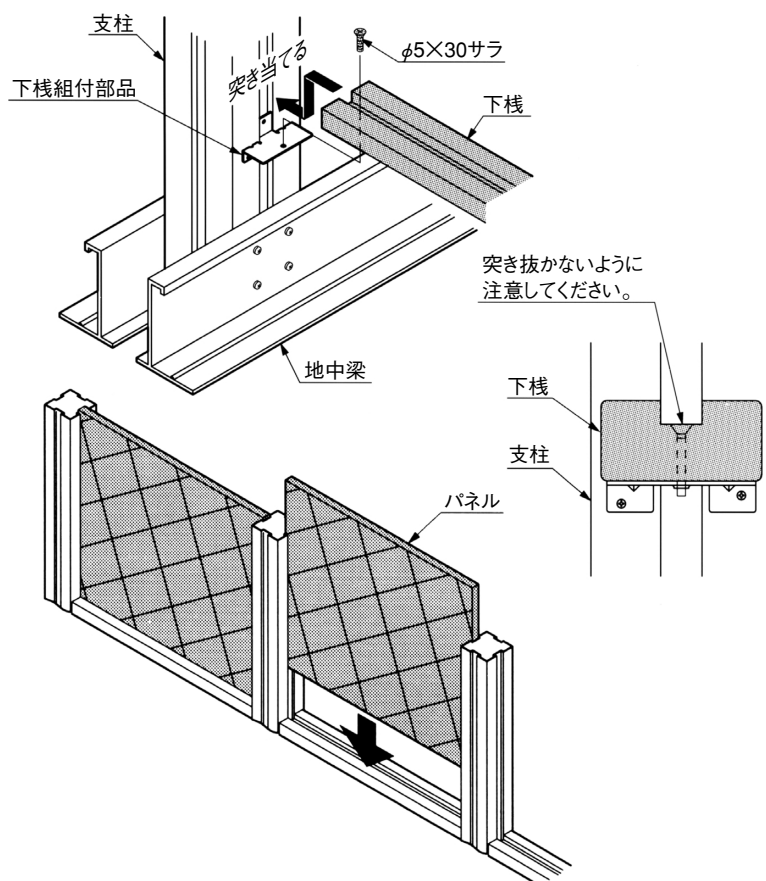


- ① 地中梁の中に支柱を差込み、固定してください。

<注 意>

- 支柱の水平・垂直を確認して固定してください。
- ネジが打ちにくい場合は、下孔 (φ3.5程度) をあけてください。
- 左図のように角柱に端部地中梁を使用する場合、側面幕板と角柱の間に5mmのすき間ができますので、他の支柱の取付位置にご注意ください。

7. パネル、下棧の組付け



- ① 下棧を柱に突き当てるように、下棧組付部品に乗せてください。

- ② φ5×30 サラネジで下棧を固定してください。

<注 意>

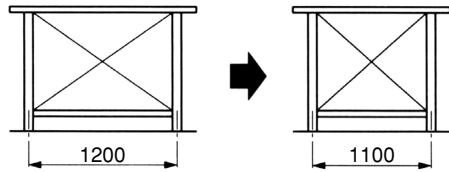
- ネジ頭を下棧の溝面に合わせてください。ネジを締めすぎで、下棧を突き抜かないように注意してください。

- ③ パネルを支柱と下棧の溝にはめ込んでください。

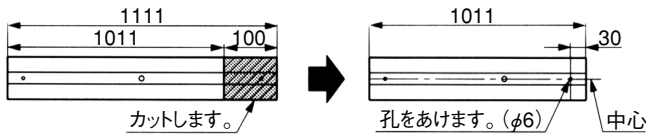
<注 意>

- パネルが溝にはまっていることを確認してください。
- パネルの表裏に気を付けてください。

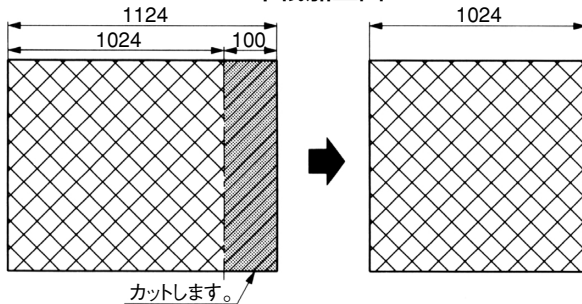
緑のメッシュ フラットパネルの組付けに関しては、別紙取付説明書をご参照ください。



加工例：支柱ピッチを100mm縮める場合



下棧加工図



ラチスパネル加工図

下棧・ラチスパネルの切詰め方法

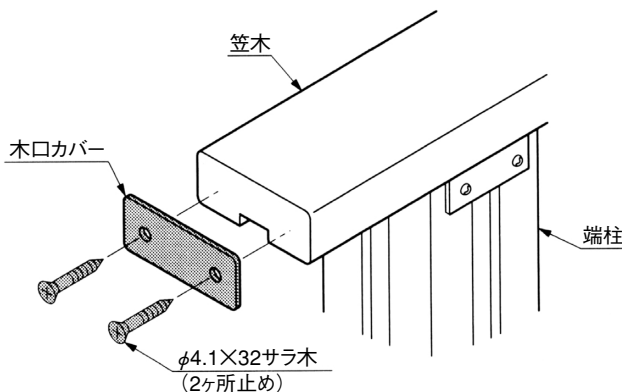
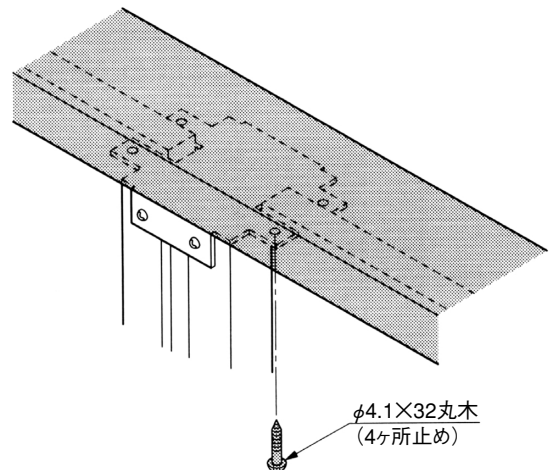
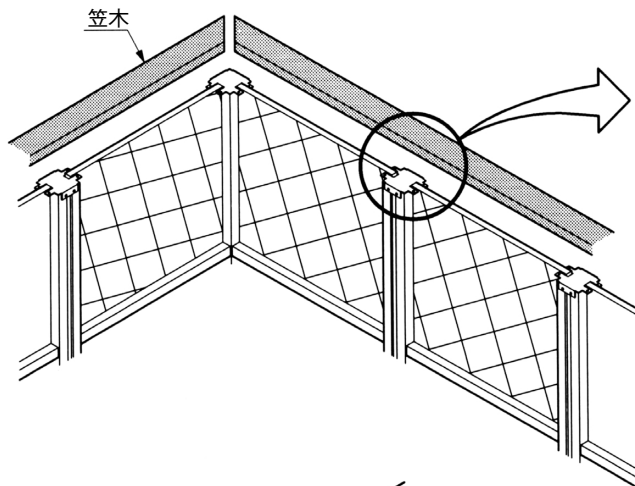
④ 下棧の加工は、下棧を必要な長さにカットし、端部から30mmのところの $\phi 6$ の孔をあけてください。

⑤ ラチスパネルの加工は、パネルの縦横に注意し必要な長さにカットしてください。

<注 意>

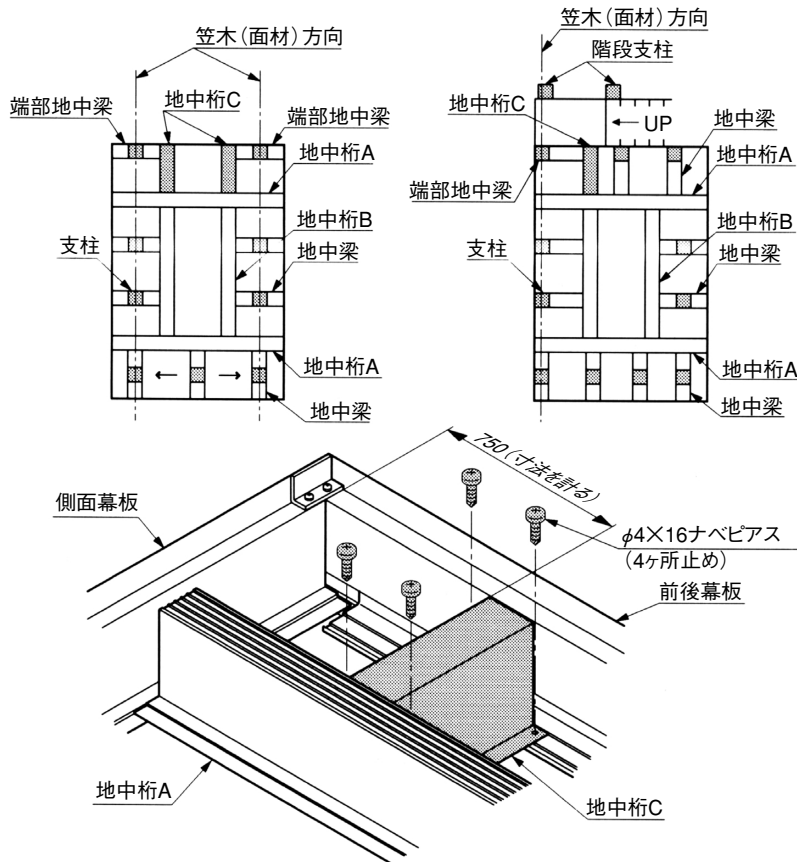
- 緑のメッシュ フラットパネルは、切詰めできません。

8. 笠木の取付け



- ① 必要長さ、形状に笠木をカットし、笠木の溝にパネルをはめ込んでください。
- ② $\phi 4.1 \times 32$ 丸木ネジで笠木を固定してください。
- ③ 笠木の端部に木口カバーを組付けてください。

9. 地中桁Cの取付け



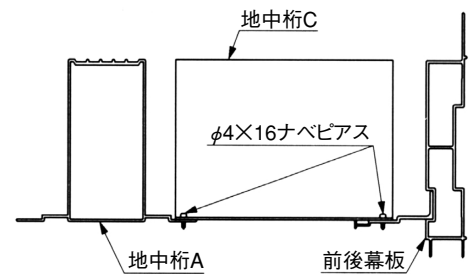
<注 意>

- ステージ手すりのプランにより、地中桁AおよびBに地中梁を設置できない場合は、地中桁Cを組付け、地中梁を設置してください。

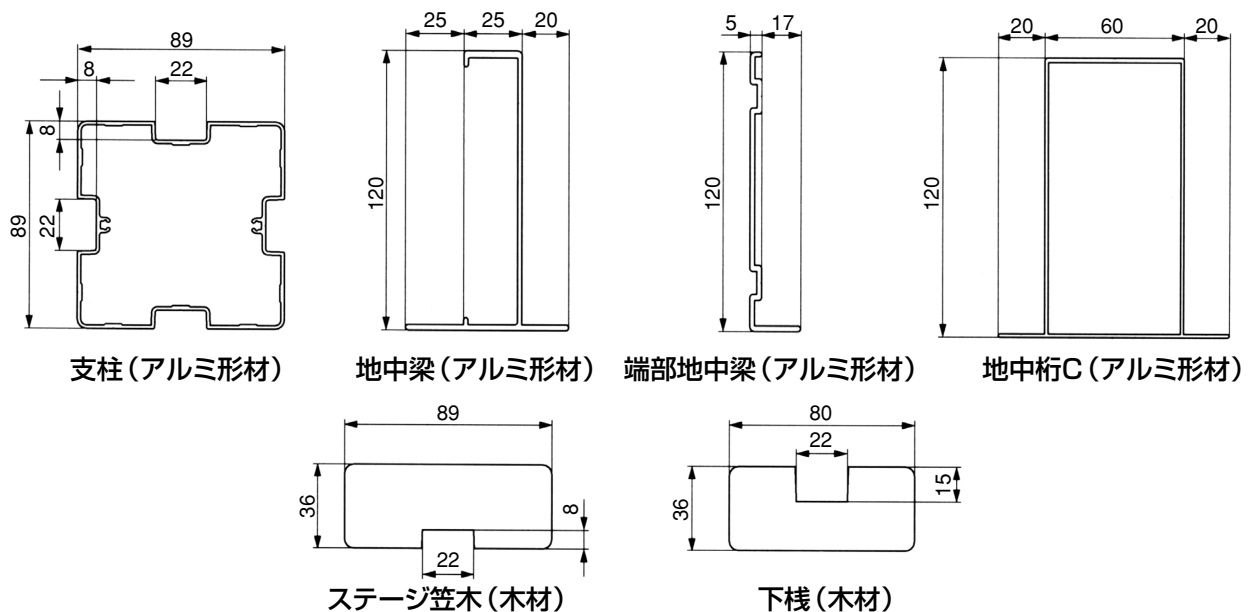
- ① 左図のように寸法を計り、地中桁Cを組付けてください。

<注 意>

- 取付位置に注意してください。(下図参照)



10. 部材断面図



取説コード

G016

200002A
200108B_1007